

「18リットル缶」に見る「スチール缶の優れた機能と用途」

【Q】一般缶って業務用にも使われているんだよね？

【A】もちろん！いろんな用途でね。でも業務用の缶ということで、どうしてスチール缶が使われているのか、分かりやすく説明するには「18リットル缶」の方がいいかも。使われている数も年間1.5億缶と多いしね。

【Q】へえ！昔は家庭でも灯油に使われていたの、見かけたけどねえ。今は、何に使われているの？

【A】それがねえ、ものすごくいろんな用途に使われてるんだよね。代表的なのは「塗料・溶剤」だけど、そのほかにも「化学品」「鉱油」「食品」「食用油類」などかな。ほかにもあるけどね。

【Q】だけど、なんでそんなに沢山の用途に使われているわけ？ちょっと理由が知りたいな。

【A】そうだよね。それはこんな理由なんだって。オールマイティって一口に言うけど凄いよ！スチール缶の威力だね。

塗料・溶剤⇒塗料、シンナー、硬化剤、剥離剤、洗浄液、パテ類、ワックス類、接着剤等々
流通過程での衝撃による容器の損傷には、もっとも注意を要する内容物。液もれなどは絶対に許されない。**強度・耐衝撃性・密封性**と三拍子そろったスチール缶なら絶対安心。

化学品⇒印刷インキ、合成樹脂全般、洗剤、殺虫剤、農薬、アルコール、香料、顔料、研磨剤等々
光や熱、あるいは外気による変質防止は絶対条件。また、容器の破損などによる内容物の漏れは、他の物を汚染する恐れがある。その点、スチール缶なら心配無用。

鉱油⇒マシンオイル、グリス、潤滑油、オイル処理剤、灯油等々
石油缶の愛称が示すように、この分野では1世紀以上の実績を持つ。**安全性・気密性・耐衝撃性**、どれをとっても信頼性は抜群。

食品⇒農産品（野菜・菊・果物等）、練乳、醤油、加工食品（ソース・だし等）、異性化糖等々
もっとも品質保持を必要とする食品にとって、**気密性・遮光性**は絶対条件。内容物によっては内面コーティング・ラミネートで防錆対策もとれるので安心してご使用いただける。

食用油類⇒サラダ油、天ぷら油、ショートニングオイル、ラード等々
非常に外気との接触や日光を嫌う。また、液体である油類は少しのすき間からでも漏れ出す。こうした油類の保存容器として求められる条件をすべて備えているのがスチール缶。

【Q】ホントに凄いね！だけど、これだけ多くの用途に使われるということは、それなりの工夫もされているんでしょ？

【A】確かに！内面コーティングやラミネートもそうだけど、キャップ類も使用条件によって求められる機能がいろいろだからね。まあ、みんなが努力しているということでしょう。

【Q】なるほどね。当たり前すぎてニュースにもならないけど、一般缶も18リットル缶も、スチール缶が業務用としてもいろんな用途に使われているのには、深いわけがあるということなんだ。

【A】正にその通り！お互い、これだけ大きな社会貢献をしていることに対する「誇り」もあるしね。



協力/全国18リットル缶工業組合連合会

平成26年7月1日

一般缶の良さ・楽しさを発信します
全日本一般缶工業団体連合会 優CANレポート 第42号